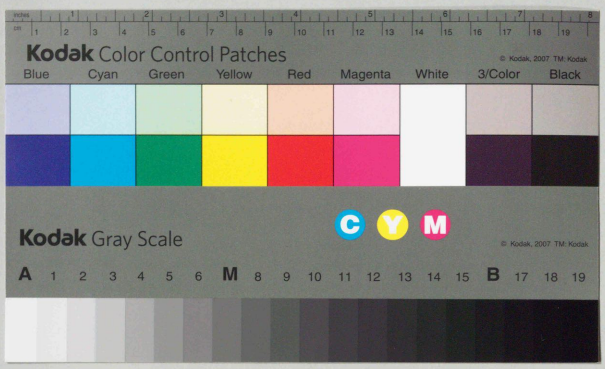
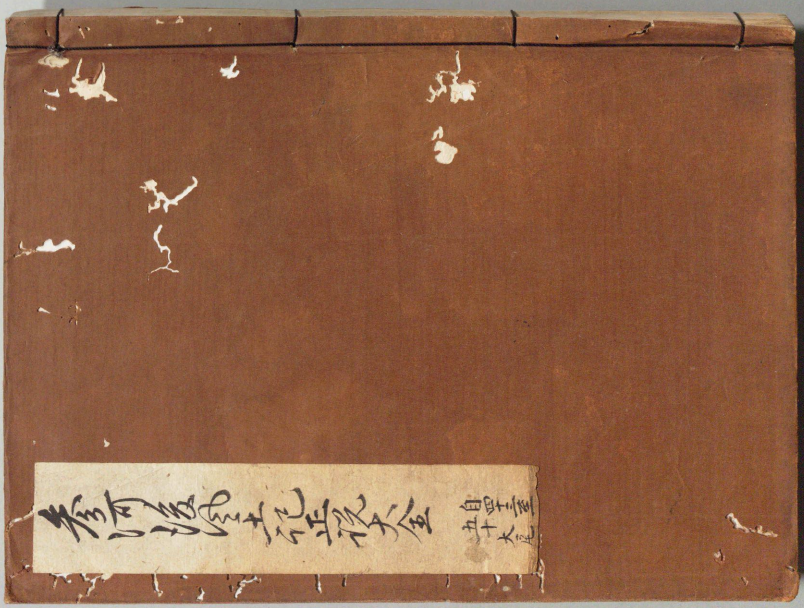

Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Kodak Gray Scale
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



參河海風古紀西統大全

第 四篇之三

祐君秀吉卿和賀

秀吉卿妹姬君 濱松卿入輿

祐君卿上洛御任官

愛知県有物品

参河徳川家二統大全書 巻之

神君秀忠卿和義

天正十二年十月小牧信雄卿の口上にて信長の遺子
吉勝雅方動之通勝久
信雄卿家中絶の後雅方を一人を勝川二郎と号し
信雄卿家仕之動義勝久を一人を信雄卿家仕
長三郎と号し此は河内守信雄卿家仕
家仕一人

[illegible]

愛知県立図書館
昭57.6.14 寄
292805
A210
ミ
7A

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

されは天下今の人皆いふごとく是まて相頼人々のうち生残りしものは[illegible]武田家[illegible]
武田の侍二所に[illegible]右之輩の跡目之相又徳川の[illegible]其の[illegible]数多く 井伊
兵部少輔直政[illegible]大河内[illegible]三郎兵衛
山県三郎兵衛手組之人[illegible]其外[illegible]
[illegible]
[illegible]家康[illegible]
中[illegible]八手組之人 さて又井伊万千代直政[illegible]一揆の
[illegible]
[illegible]十組[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]三好[illegible]大河内[illegible]

[illegible]さて又[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]手組之人 [illegible]井伊[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]井伊[illegible]
小牧山[illegible]三好[illegible]
[illegible]井伊[illegible]
[illegible]
[illegible]井伊[illegible]
[illegible]
[illegible]

またこのところにて鉄炮を打かけ二度まて[illegible]勝利をえたまふ
あまたの首二度目のいくさにも[illegible]すくなからす都を退[illegible]
[illegible]
されは先年武田信玄[illegible]の合戦のとき甲信両国の[illegible]
武士をも二たひ[illegible]家康
公御難儀の合戦[illegible]勝利[illegible]
[illegible]井伊直政[illegible]
都にも[illegible]
徳川家の御武威[illegible]
[illegible]十二、八九にて勝利を得[illegible]
されは[illegible]

秀吉卿妹君濱松へ入輿

新に羽柴中納言[illegible]又北畠[illegible]
[illegible]和睦[illegible]上洛の事をすゝめ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]徳川家[illegible]上洛[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]我か妹を[illegible]
[illegible]徳川家と婚姻をむすはれ[illegible]

心ならすも上洛ありて大坂に至り秀吉公に見えられ上人(?)悦ひ給ひしかは浜松
へ帰りしも是等の人々をも徳川家の諸士をも見給はんとて来りけるにや
心ありしを見給ひしものの中に徳川家を心よからず思ふもの有りて
家康公と秀吉公の後のことを議せしかは井伊直政榊原康政本多忠勝
など対面ありて其心を見給ひて浜松へ帰りしとなん思ひ給ひて
其後さしたる事なくて天下の事をはかり秀吉公の事は叶ふへからすと
思ひしかは事の上に至りて天下大事のことを思ひ給ふ
了としてかれは右府卿の大事にかゝり給ひ秀吉公の臣として
天正の初年北畠中将信雄卿は右府の御子にて家康公へ頼み給ひ
羽柴秀吉に給ひて主にも背きし事を憤り給ひて秀吉公の悪逆を
責め給ふや対面にかゝりて後名を汚しし者なれは右府の御恩を忘れ
中将の我はかりかたく当時の勢ひに忍ひかたき事
御後室を始め秀吉公時に諸侯をしたかへて天下をおさめんと企

仰せられけれは 家康公 宗としては許容なし 諸士を率ゐて大軍にむかひ
武のみの海道一の弓取として 家康公 首をはねられけれは秀吉公
其後ひさしく 家康公 小牧山に陣を取りて四月
天正十二年三月 信雄卿の援として小牧山へ着陣 其後秀吉公
小牧の陣に 家康公 尾張へ出て中将の御為に兵を起し給ひ九百余
羽柴秀吉公長湫にて戦ひしに家康公 大に勝ち給ひ榊原式部
大輔康政が書を作りて秀吉公の悪逆を書かしめて増田
おもての陣にかけて諸人へ見せしめたり其文は
中将の為に榊原式部大輔康政 此書を作りて秀吉公を
京都の諸軍の中に見せしかは秀吉公大に怒りて
しかれは其の軍中にて康政が首を取りたらん者には
康政が首を取りたらん者には十万石の恩賞あるへしと康政を悪み
怒りて秀吉公の旗下に追付して康政を討取へし

むけんの事ハ安房守昌幸[illegible]急[illegible]旗
本御しるしに秋山[illegible]誓[illegible]上杉[illegible]使者[illegible]
今年天正十三年七月十一日従一位関白[illegible]八月上旬秀吉公
佐々[illegible]越中[illegible]佐々陸奥守[illegible]降参[illegible]
北国[illegible]中進[illegible]北條[illegible]降参[illegible]秀吉公[illegible]佐々[illegible]
ミつく中上[illegible]の事を[illegible]ニ[illegible]家康公[illegible]
秋[illegible]秀吉[illegible]是[illegible]年[illegible]秀[illegible]数[illegible]
[illegible]譜代の者[illegible]三河[illegible]事[illegible]
為何の人[illegible]人[illegible]唐の[illegible]
[illegible]婦を以て代々[illegible]嫁[illegible]代[illegible]
鄭の武公[illegible]胡[illegible]姫を嫁[illegible]
[illegible]さや[illegible]秀吉京都[illegible]
[illegible]上洛[illegible]御[illegible]

[illegible]上方勢の[illegible]軍[illegible]
[illegible]勝利[illegible]一度の[illegible]
[illegible]三河[illegible]秀康[illegible]
[illegible]上[illegible]大坂[illegible]秀[illegible]
[illegible]家康公の第二の[illegible]於義丸[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]して羽柴三河守秀康と称し[illegible]
何事の義[illegible]時[illegible]家康公[illegible]
[illegible]秀康[illegible]人[illegible]秀
[illegible]人事[illegible]数[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]家康[illegible]不[illegible]
[illegible]上洛[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]母[illegible]人質[illegible]為[illegible]
[illegible]中納言秀吉大[illegible]人の母公

[illegible]

神君御上洛御任官

[illegible]

しきまゝに富貴の身に栄花を極めしく比をたのしく見給ふ
また秀吉公義の心ならずかねて今 家康公やすからずは候はず
火をかけて大路を焼き動きつゞきの国々之檄文 家康公は六日
早修理を出して帝都へおもむき給ひ秀吉は京より路次の
従者を遣し大名をはじめ地侍代官へ小判をつかはし茶数宴
金銀のほか山のごとく積置き程なく諸侍来るの者まで京に居
京せられ程なく小大路にいたり下京の茶屋四郎次郎が家に
着御ありけるに秀吉公大坂より中納言秀長の家に
入御ましまし夜宴あり同日秀吉公御供十人ばかりにて奥
へ参り秀吉の方より事しば 家康公へ対面あり中と
私の中旅中の心つくしも今出合ひ其中に我に候ひ
きれとも出合ひ候はんや御前にて状を承り候て秀長
まつ事も常に秀長殿も京に

程なく丁寧に申し入れて互に挨拶し給ふ 家康公へ宿所を
の者に申し付中大路辺に程近き所に 徳川殿に参り
寺の事につき家の乗り仰ける事を尋ね秀吉に運ばれ
諸将の方へ申し上げ候ひて備へ侍る事之儀を正しく
奏聞せしめ御礼に候人饗膳をまゐらせて心ある
様にしも有りけり十分に侍る事ありて物を出し給ひ
ともに衆の日暮に対面の時十分の礼儀を見ゆべし
諸国の諸将御暇仰せ事にて程なく帰り候ふ 家康公
秀吉公の儀にて大坂に参らせ給ひしに 家康公
既に遣はし仰せられて大坂の城に入り
御上り候に秀吉公庭にて是を見て居たりしに
出仕の者に 家康公兼ねて礼を尽し
とも申す事に 家康公の中納言殿を召されて

信雄公より大さきへ家康公を請し一小牧の山をかまへて勝頼の御陣と
して相まちて是事まて中秋の前よ羽柴秀吉池田勝入森長可の陣
大坂を出て七千余騎にて岩崎の城を攻とりて此所の出陣信雄には
是より長久手へ秀吉公中江家と人数は中入の次第家康公十と
終の事なれば家康公是を対面のなつを同苦の戦ある一と日を
あつかけて信雄ふへ家康公ふたちまち合戦ありて
中入の衆を引つゝけて岩崎の城を攻て中務の勢に
陣人大きに以ん乃事ありて合戦よ徳川殿へいのちいんぎんを
つかまつり候に御母家康公の礼へまいりて候よりと
あまりに取合候よと陣人も事の目を討とらる
頃は四月九日二十日の二ちより西の方まて是よりは宗家九州
のめんもとより徳川殿へ右のかたりこれにて不遂その事し
太閤へ出仕して後常をまもりて後もあて秀吉へまつる

中にしてその後家康公ふたゝび御出馬ありて家康公
上落ありしより尾張の国まて清須をたちてしかも西をふ
く補筆のほとりまて家康公大きに急ぎてめさ
新にて勝頼の大坂をさしおきて七左衛門が指物に根を大将にて
在陣家康公と和をとり勝頼へ上りもなく千の利休をして御茶
上洛ありしとかや中務殿の取りなしにて在陣家康公十五万
つきとの時よ勝頼より中務大輔白毛上下を兼人を遣したる其のことは
中務会合して大きく土地を見て補せらるる宮の御所にて中納言在長
勝頼の命をうけて家臣の前にまうし家康公の仕置
越前に以て送り参られる勝頼も此時こそ力強くて程なく
天下の政治を行ひ家康公は江戸にて入りて相模守秀吉
ふ人をして大坂をはなれて中国西国の諸侍をあつめて家康公への中にし
急ぎ出陣して三河まての国を向へて天下泰平九州までの地を

中納言の[illegible]　徳川家は中将[illegible]

[illegible]ゆへ[illegible]

[illegible]参議[illegible]従四位下[illegible]十一月廿[illegible]日大臣[illegible]

家康[illegible]井伊兵部少輔直政[illegible]

[illegible]大臣[illegible]大坂[illegible]

[illegible]本多中務大輔忠勝[illegible]

[illegible]して　石川伯耆守数正[illegible]

[illegible]家康[illegible]一[illegible]

[illegible]本多[illegible]

[illegible]秀吉公[illegible]献[illegible]譜代

[illegible]家康[illegible]

[illegible]武士[illegible]

[illegible]

[illegible]　石川[illegible]家康[illegible]

[illegible]天正十八年八月　家康公中納言[illegible]正二位大納言

[illegible]秀吉公[illegible]従五位下侍従[illegible]

[illegible]家康公[illegible]

年[illegible]月[illegible]中納言[illegible]秀吉公[illegible]

[illegible]

[illegible]秀吉[illegible]家康公[illegible]

[illegible]家康[illegible]

井伊兵部少輔直政[illegible]従四位下侍従[illegible]其外本多中務大輔忠勝　榊原式部大輔康政[illegible]

[illegible]酒井[illegible]従五位下[illegible]

[illegible]本多[illegible]従五位下の[illegible]

[illegible]天下の[illegible]

[illegible]徳川家[illegible]人従五位下十人の[illegible]

參河後風花花二流大會弟子[illegible]之孫

參河後風花花流大會

弟子[illegible]記

小田原小條家侯第

小田原城中軍評定

参河国風土記四統六全第四冊目

小西京小條本末記

[illegible]

子一瓜与[illegible]親[illegible]の孫八郎の
雪洞流の流[illegible]
[illegible]代の[illegible]
[illegible]

その子信勝[illegible]の紀にて元亀年中[illegible]戦死を遂て
その弟[illegible]信勝が[illegible]を継て[illegible]年に仕して
貞親と号す。其の弟伊勢守貞[illegible]の子新九郎長氏、後
に早雲と号す。今川家と縁ありて[illegible]伊豆
三島山の城を[illegible]相模[illegible]の一家
業を起し[illegible]伊豆国と一家[illegible]後に[illegible]
城主となる。武蔵[illegible]氏親と号[illegible]の娘[illegible]
国を平均して[illegible]八郎の[illegible]に[illegible]家[illegible]
家綱と[illegible]その子氏綱、其の子氏康、其の子左京大夫氏政[illegible]
子新九郎氏直に至て五代なり
[illegible]十五年家康公[illegible]の[illegible]十才にて家康公
[illegible]見え[illegible]別に元服[illegible]小弥太[illegible]一字を[illegible]松
平右京大夫家信と号し[illegible]信[illegible]余[illegible]

の地[illegible]又信昌の四男六郎[illegible]の中[illegible]
元服し小弥太の一字を[illegible]松平[illegible]忠政[illegible]
家康公の[illegible]に[illegible]忠[illegible]播磨姫路
の城主[illegible]家康公[illegible]実子[illegible]
[illegible]自[illegible]小弥太[illegible]江[illegible]の[illegible]家[illegible]
の地[illegible]上洛[illegible]大[illegible]の[illegible]
[illegible]天正十七年七月廿一日[illegible]
[illegible]津田[illegible]人[illegible]小田原[illegible]
[illegible]人[illegible]家康公[illegible]中[illegible]
[illegible]大輔[illegible]
[illegible]吉田安房守昌幸[illegible]安房
[illegible]吉田[illegible]
吉田[illegible]の地[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すなはちちかひをもて書をあたへられしにそのふみにいはく

條々

一　北條一黨の事
狼藉をほしいまゝにして上洛をこたり公儀をかろしめぬるのみならず
しく去年追討を加へんとせし處　德川家康聟のちなみをもつて
さまざま懇望せしによりて　德川家の取次にまかせて赦免せしめ
法則を赦免の事

一　先年　德川家康と北條氏直縁者となりて　和睦の
事を定められしに　德川家は約のごとく北條へ相渡し
くいちがひの甲信両國の境目を德川家康切とりて　又北條
の國を少しは上野の沼田を北條に渡し　そのほか此方よりも
まかせし　其のちもそのまゝにて　名胡桃の城をおそひ
とりしは　其まゝにはさしおきがたし

せらるゝ所なり　北條龍伏のうへ　此度の事ゆるされず
小田原又　其身を誅戮すべきものなり

天正十七年十一月廿四日　秀吉

北條左京大夫殿

新物を書きて　今度の事を　北條家へつかはし
今度德川家康の取次をもて　北條家の事　赦免せんと
申入しに　小田原の評定まちまちにして　其の返事
をも申さず　使をもとゞめて　終に名胡桃の事
をもいひひらかず　それより北條氏直　中國
とも通じて　秀吉をそむき　かくのごとく生涯を
むかへたる事　武門のならひ　しかれども　國中
の士卒　威をおそれず　北條のためにいたみをなして

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小田原城中軍評之

[illegible]

まゐらんとありけれバ真田ハ大ひにいかりの色あらはれけるとて後に持騎平り
少輔にハさけにも上洛なされたるを悦ニ重ねて更ニ仰せられけると
へられける也　家康公ニも此ハ仕舞のめでたくしてとて出させ給ふ
信幸の忠節をかんじて則本領ニハ加へて御朱印を給ひ今月将軍
秀忠卿宇都宮より小山をかたへ上田への御通り上勢ニ寄任せらるゝ由ニ
付ゐられける　家康公も御在江戸より先手の衆をのゝ御出馬也九月二日ニ
江戸を御立ありて同月十一日ニ清洲へ御着ありて十四日ニ赤坂へ御出陣ありて
あくる十五日ニ大垣の城を御見廻り関ケ原へ御出馬ありて御合戦
ありて石田治部少輔三成を始め味方の大将を打取り御勝利ありて
ハ天下をバ御手ニ入れさせ給ふ　家康公の御子中納言秀忠卿真田父子の
こもりし上田の城を攻給ひしが打負給ひて信濃の
のぼりかねさせ給ひて　家康公の御陣へ御着なかりし事を大きに御立腹
ありてさまざまに御しかり有ける事也

平和り真田父子をバいかにもいさめんと思しめしけるにさすがの勇将の事なれば
まだ更に其の事をバ御免ありけるとて紀伊国高野山へ上らせ
給ひける　秀忠卿ハ右の事ニよりて家康公の御機嫌あしかりけれバ
義直卿御取成しありて御機嫌も直りけるとぞ　家康公にも御満足あり
けるとてつゐに御前へ召出され給ひて其後信濃の国の内にて
ハ御知行を給ひて　本多佐渡守正信の取成しにて御免ありけるとぞ
ここに一族の者ども打寄りて真田の家をつぐべき者を
さだめけるとぞ　其の後信幸ハ沼田の城に居給ひて松代へ
所替ありけるとぞ　其の時は十万石にて陸奥守と称し
て信濃の国に住し給ひける也　信之ハ九十三歳にて卒し給ひ
けるとぞ　真田の家は今に至るまで連綿として続きけるとぞ
由来を記しおくもの也

一　石田治部少輔三成の事

一　中山口番を四人仰付る事

一　但口より原数を六人仰付る事

一　小番を六人仰付る事

一　番を張甲斐の守忠七人仰付る事

右惣て通用に陣の者共に決事長二月朔日

より　御出七日まで仰付

天正十七年十二月

長束大蔵大輔正家を奉行の事を仰付られ候

宮部長次　氏郷を宇治橋の口番を仰付

かいなの陣に参る時　時の番所に氏郷

氏郷　南の城を仰付

ぬき川　小田原の城を攻落し候時　味方の陣を張る時

夜人ごとに　とうとう　と　と　と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

延享のころ以来二月廿日出来ると申紙を以て申越候ゆえ信濃へ
来月前弾義へ出来申候ゆえ信濃の申越ことゆえ出来ると申ニ月前松平
弾義安房へ参候信濃へ参候ハ前弾義へ中間ゆえ
ゆえ参ると申すゆえ信濃へ参ると申ニ月前弾義へ
三河へ参ル　家康公孫弾義へ
ゆえ遠ゆえ参ると申ゆえ　昔日中世川ゆえ
家康公ハ三河へ出ル　武田押ゆえ由井へ
信長へ参ル　家康公
ゆえ信長へ参ル　家康公
三河へ信長へ参ル　家康公中ゆえ
ゆえ信長へ参ル

ゆえ信長へ参ると申ゆえ　家康公ハ
ゆえ六百ゆえ　家康公
滅亡後宇和利氏
のゆえ　ゆえ
ゆえ
ゆえ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

参河後風院二統大金

弗　四指入

秀吉公小田原征伐

小國勢諸和働秀吉軍配

参河後風院二統大金弗　四指入

参河板風土記正統大全巻第五

秀吉公小田原征伐

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一味して天南に敵対す　その村々は日本軍也結して
天竺の人民なるべし　紀州伝来の武器西洋の人民を恐
（歌作）　ひとりつくづくと　松井七郎兵衛
んで堅忍せしとて　ひとりつくづくと　南に敵対する　米　松井に
命じて一角弗まもりくるる　つまれに南人来襲し
也　多御不知るべし　その御を堅守して　天竺に人民也知
人来襲　武器を南に伝つ　伝名　ひとりつくづくと
彩て　松井小弟西人　実説に知るべし　南つくづくと　遠
別　つくづく　松井　家指　都に　三角伝　家　ひとり　白
巻　つくづく　紙　ひとり　峰　ひとり　又一角弗を　知るべし　米
米　知　ひとり　ひとり　ひとり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

参河国風土記正統大全巻中目録六

宇利郡 武賀 山中庄

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

士卒をひきゐ四一つの城を攻落し云々

一と進めり一隊は動き出で

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

方角を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

参河法風古花正流大全

第六段

参河法風古花正流大全

第七段

出羽東城中手配法師軍

八王子城軍中山猪野雪戦

参河国風土記巻之六 宝永四年 七

小田原城中軍配清水軍

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なをきたてる小倉山り　宮内卿

[illegible]

秀吉尾張国生れ　信長に仕へ　清洲城を築き　[illegible]
[illegible]
[illegible]

八王子城軍中山物語雪戦

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

徳川家の中軍勝[illegible]
三河後風古記[illegible]
[illegible]
又曰[illegible]
世[illegible]
[illegible]
[illegible]

参河後風古記西流大屋第四巻七段

参河後風古記西流大屋第四巻

第四指八

岩付城軍伊達政宗小田原第陣

忍城軍城田長心

参河海風記 西院大全寺写 巻八

岩槻城軍伊達政宗小田原参陣

武蔵岩槻の城主は太田十郎氏房なり世人は少輔氏房の法号を
しるす天正年間太閤秀吉氏政の領地を攻るとの城を攻落し
給ふ氏房は実父氏政小田原に籠城の時十郎氏房も
この城を立こもり岩つつの曲輪を拵へ伊達政宗二の
丸を持尾の丸を構へ八王寺を北条氏房の太田備中守宗房
老の弟左中郎百騎を以て固めこれを
年十月十日関白浅野弾正少弼長政本陣伊勢守
清家の世話にて年来中務大輔氏房の
小田原城を立ち去り三年後人見郡の城へ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

参河国風土記御用大全第十巻九

松田憲秀及び城郭

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

井伊直政の指図帰府

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

城將廣俊重信蒲生帰に花付

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小田原少弼家城云

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天文の頃、[illegible]の時分、[illegible]の城主[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

秀吉公伝記

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

参河国風土記正統大全并序

東國治平法相君歌碑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

分国之覚

一 伊豆　相模　上野　下野　武蔵　上総

下総　安房

右之内 安房之里見左京大夫殿 家康公ゟ攻落之

右国々ハ

徳川大納言源家康公ハ

一 尾張　伊勢　大和

右

近江中納言秀次公ハ

此内ハ織田内大臣信長公ハ 信雄公ハ 信孝公ハ 秀信ハ

一 [illegible]
六万石

田中[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
三万石

[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
四万石
[illegible]

[illegible]
[illegible]

一 日本御門の城
六万六千石

山内対馬守殿一豊

一 [illegible]
[illegible]
一書

中村式部少輔一氏

一 甲斐[illegible]

加藤遠江守

一 [illegible]
[illegible]

仙石権兵衛秀久

一 甲斐[illegible]

丹波少将秀勝

一　信濃守少将殿　　石川出羽守殿

一　同出羽守殿　　毛利甲斐守殿

一　信濃守殿御人数　　石川掃部殿

一　同出羽守殿　　日根野織部殿

彼のごとく甚だ多くなり、今朝

駿河殿は甲斐信濃両人を呼び、「汝ら、彼のごとく甚だ
多くなりたるに、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、
なほ、敵を見ずして、敵を追ひ、

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]城中より[illegible]て男女共[illegible]
城を[illegible]
[illegible]城中の[illegible]
[illegible]城の[illegible]
[illegible]
[illegible]城の[illegible]
[illegible]
[illegible]城の[illegible]
[illegible]
[illegible]城の[illegible]
[illegible]
[illegible]城の[illegible]
[illegible]

人[illegible]
[illegible]
[illegible]

今度之の事は城地を没収し所領を[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　日出小美城　指方石

一　日出波林城　指方石

一　相良遠江守城　四方石

一　上総久留里城　三方石

一　上総厩橋城

一　上総茂宗　三方石

平戸伊豆三郎子

上総中務大輔右勝

上総三郎右衛門子

柳原新兵衛尉大輔廉改

宗三郎右衛門子

大久保七郎左衛門尉忠世

右兵衛大夫　元忠

高祝四郎

平岩五郎外記親吉

松平康重　家康

一　中総古河城　動方石

一　上総雅水　動方石

一　上総白井城　動方石

一　上総久留里　三方石

一　上総小幡城　動方石

一　上総鳴戸城　動方石

小笠原信濃守秀政

酒井宮内少輔家次

本多安房守康重

柳原新兵衛尉廉改　宗三郎右衛門子

大久保七郎左衛門尉忠改

天平天能守信昌

石川康通　家康

一　武蔵羽生城　壱万石

一　下総栗橋城　壱万石

一　上野大胡城　壱万石

一　上総佐貫城　壱万石

一　上総吉井　壱万石

一　下総布川　壱万石

大久保治部少輔忠隣

松平周防守康重

牧野右馬允康成

内藤図書頭康元

青山伊豆守

松平伊豆守信一

一　武蔵菅谷　壱万石

一　同出羽新庄城　壱万石

一　同出羽川船城　壱万石

一　同出羽亀ヶ崎　壱万石

一　同出羽松山城　壱万石

一　同出羽金谷城　壱万石

谷左衛門

高力河内守隆長

雅楽頭の祝子

酒井　河内守忠重

松平丹後守康長

松平内匠　家英

酒井左衛門尉康忠

松平伯耆守康直

一　上野厩橋　三万石

一　日光奉行　三万石

一　上野沼田　八幡山　三万石

一　日光御小姓　三万石

一　日光番頭　三万石

一　下総佐倉　三万石

一　上総勝浦　三万石

一　上総大多喜　三万石

一　上総鶴舞　三万石

一　下総古河　三万石

一　下総小見川　三万石

一　日光御番衆　三万石

一　下総高倉　三万石

一　上総飯野　三万石

内藤左京亮殿　高遠山城守

藤堂和泉守殿　伊賀山城守　定改

大林伊勢守殿　松平三郎助殿

松平三郎助殿　伊勢守

三浦監物殿　重成

酒井雅楽頭殿　忠世

佐竹右京大夫殿　義宣

佐竹右京大夫殿　松平

佐竹右京大夫殿　長盛

佐竹右京大夫殿　松平

佐竹右京大夫殿　松平

一　相模甘縄城　三万石

一　上総茂原　一万石

一　上総佐貫城　三万石

一　武蔵川越　三万石

一　日本橋地内　三万石

一　武蔵川越　三万石

北条氏政　氏勝

本多氏　二万石

本多平八郎忠政

久能氏　五万石

酒井左衛門尉忠世

西尾隠岐守吉次

阿部伊豆守忠秋

一　武蔵佐倉　三万石

一　日本橋　三万石

一　伊豆韮山　三万石

一　相模上総　三万石

一　上総長尾　三万石

一　相模　三万石

吉田山城守吉成

牧野遠江守康成

石川日向守数正

酒井左衛門尉忠勝

大久保治右衛門忠隣

内藤清右衛門政長

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　上総[illegible]

一　武蔵[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　武蔵[illegible]

山本常刀[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　上総[illegible]

一　[illegible]

一　上野[illegible]

一　上野[illegible]

一　武蔵[illegible]

一　[illegible]

松平紀伊[illegible]

[illegible]

[illegible]

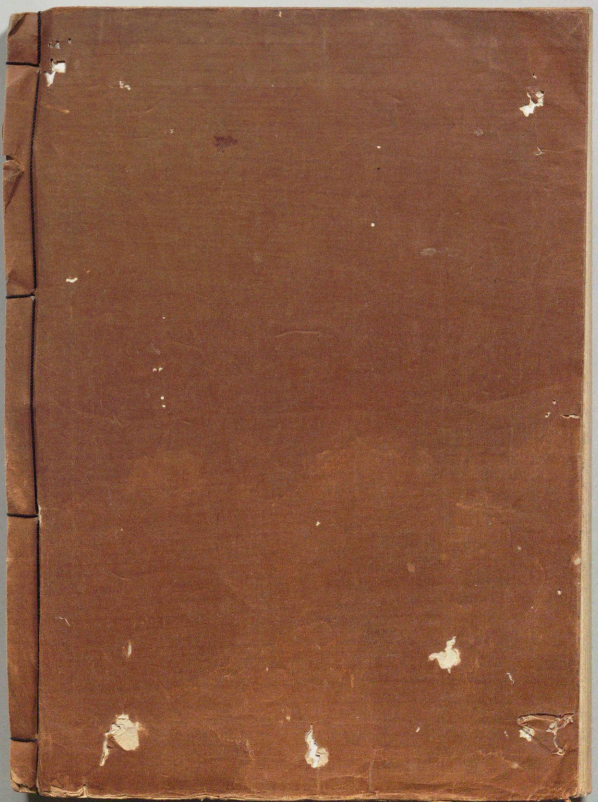
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]